鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第42週（令和8年10月12日～令和8年10月18日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

管内流行発生警報発令中：手足口病、ヘルパンギーナ

定点医療機関【ARI２（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾　患　名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第39週	第40週	第41週	第42週	先週からの増減	第41週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	78.50	39.00	83.00	100.50	↗	63.89	↗
インフルエンザ	30	10	10	1.50	11.50	15.50	12.00	↘	11.96	↗
COVID-19	−	−	−	0.00	0.50	0.50	0.50	→	0.68	↗
咽頭結膜熱	3	1	−	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.55	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	−	3.00	6.00	7.00	5.00	↘	1.90	↗
感染性胃腸炎	20	12	−	3.00	3.00	1.00	5.00	↗	4.81	↗
水痘	2	1	1	1.00	0.00	**2.00**	0.00	↘	0.23	↗
手足口病	5	2	−	0.00	**7.00**	**2.00**	**3.00**	↗	0.48	↘
伝染性紅斑	2	1	−	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
突発性発しん	−	−	−	2.00	0.00	0.00	2.00	↗	0.45	↗
ヘルパンギーナ	6	2	−	**6.00**	**4.00**	**5.00**	**5.00**	→	0.94	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
ＲＳウイルス感染症	−	−	−	10.00	8.00	3.00	1.00	↘	1.06	↘

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　　10月は臓器移植普及推進月間です。

毎年10月は臓器移植の現状を周知するとともに、移植医療に対する理解と協力のための普及啓発を行っています。

臓器移植は、臓器の機能が著しく低下したときに、臓器提供者の健康な臓器を移植して機能を回復させる医療で、提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療です。

臓器移植の一層の定着・推進を図るためには、より多くの方々に臓器移植に対する理解を深めて頂き、臓器提供に関する意思表示をしていただくことが極めて重要です。

臓器提供の意思表示の方法は、以下の三つの方法があります。

意思表示の方法

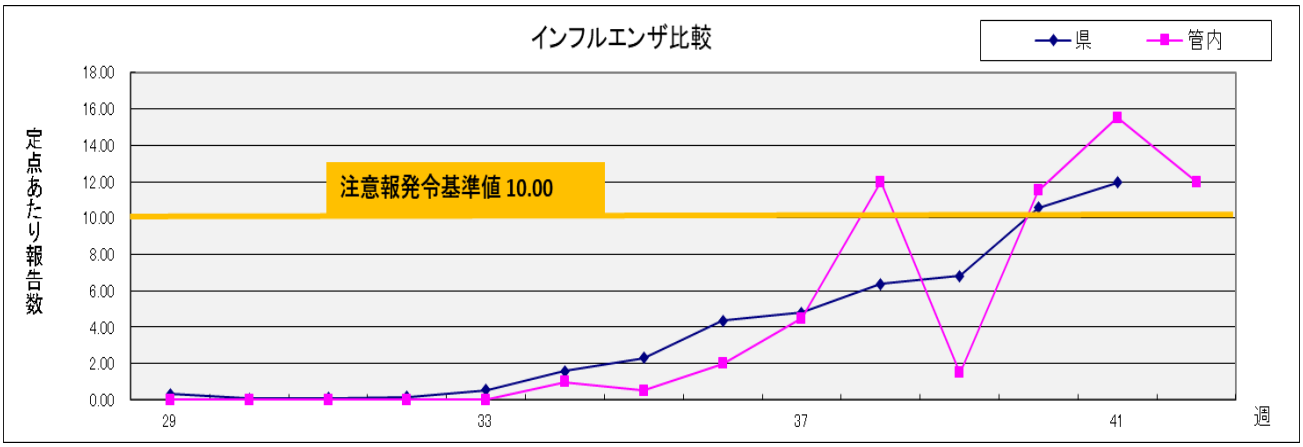
①インターネットによる意思登録
②運転免許証やマイナンバーカードの裏面の意思表示欄への記入
③意思表示カードへの記入

＊普段から臓器移植についてご家族で話し合い、一人ひとりの考えに従って「臓器を提供する」「提供しない」の意思表示をお願いします。



注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



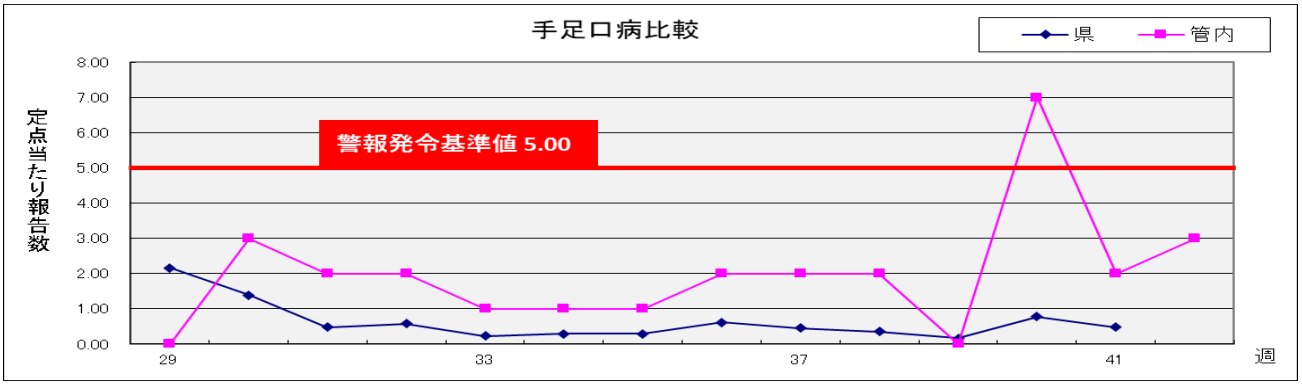
第 42 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、24 人（定点当たり 12.00）でした。

年齢別では、10～14 歳（各 7 人）、3 歳（4 人）、4 歳・50～59 歳（各 3 人）、0～5 ヶ月・6～11 ヶ月・2 歳・7 歳・9 歳・15～19 歳・80 歳以上（各 1 人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・手足口病　（流行発生警報発令中）



第 42 週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、3 人でした。

年齢別では、0～5 ヶ月・1 歳・2 歳（各 1 人）の報告がありました。

手足口病は、感染してから 3～5 日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約 3 分の 1 にみられますが、あまり高くなく、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/12～10/18（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 18 人（型不明 10 人、A 型 8 人）、水痘 1 人、溶連菌感染症 1 人が報告されています。

疾患名 / 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	水痘（みずぼうそう）	溶連菌感染症
日置市	8	8	1	0
いちき串木野市	2	0	0	1
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	10	8	1	1